



相棒!

君がスネージナヤに
来たと聞いた。

ここ可成寒いだよね?



スネージナヤはどうだ?



虫

私がここにいることを
どうやって分かった？

フェアユイだからさ

滞在場所はある？
それとも俺の家で寝せる？

ある

君の飛び回る
友達はどこに行く？

……
ところで



待って、

他の人にばれたら
どうしよう?..?



心配するな
誰もいない

店主にすでに値段を
払ったんだよ

奥に行こう



ちゅん

あゅん



そうやって
舌を使って…

最初は
目を合わせることもさえ
難しかったけど、

すぐ目に遭っただけでも
関係を持った。



君がとうしてここに…

璃月ではもちろん



偶然会った
稲妻でも、





ここ
スネーズナヤ
まで



一日でも欠かせば
大変なことに
なるように
毎日会った。



ちよっと、
バレちゃう...!

タルタリヤの家族が
眠っている夜とか、



特に隠すつもりは
ないようだが？
音が全部聞こえるよ。





宵の旅館で、



そして
昼間の路地まで。

もうやめましょう





はー

知ってるじゃん

私かなぜスネージナヤに
来たのか。



君の好意をおかげで
生活の支障はなかったが



わー



俺が払うよ？

モグ

モグ

お兄さんに会うこともできず、
氷の女皇の顔さえ見たことないほど
怠慢になった。

旅行者、
これまで何してたの？
久しぶりに
顔を見ているようだ。



何人かの男性が
すでに払いましたよ。



わかるけど、
まだやるべきものが
たくさんある。
旅行が終わったら
ここを出るかも
しれないし。

……分かった。

と言ったが、



三日も
経ってなかった。



タルタリヤ!



ぎゅっ...

最後に今日一日だけ一緒にいてくれよ?



我慢しようとしてもうまくいかない。

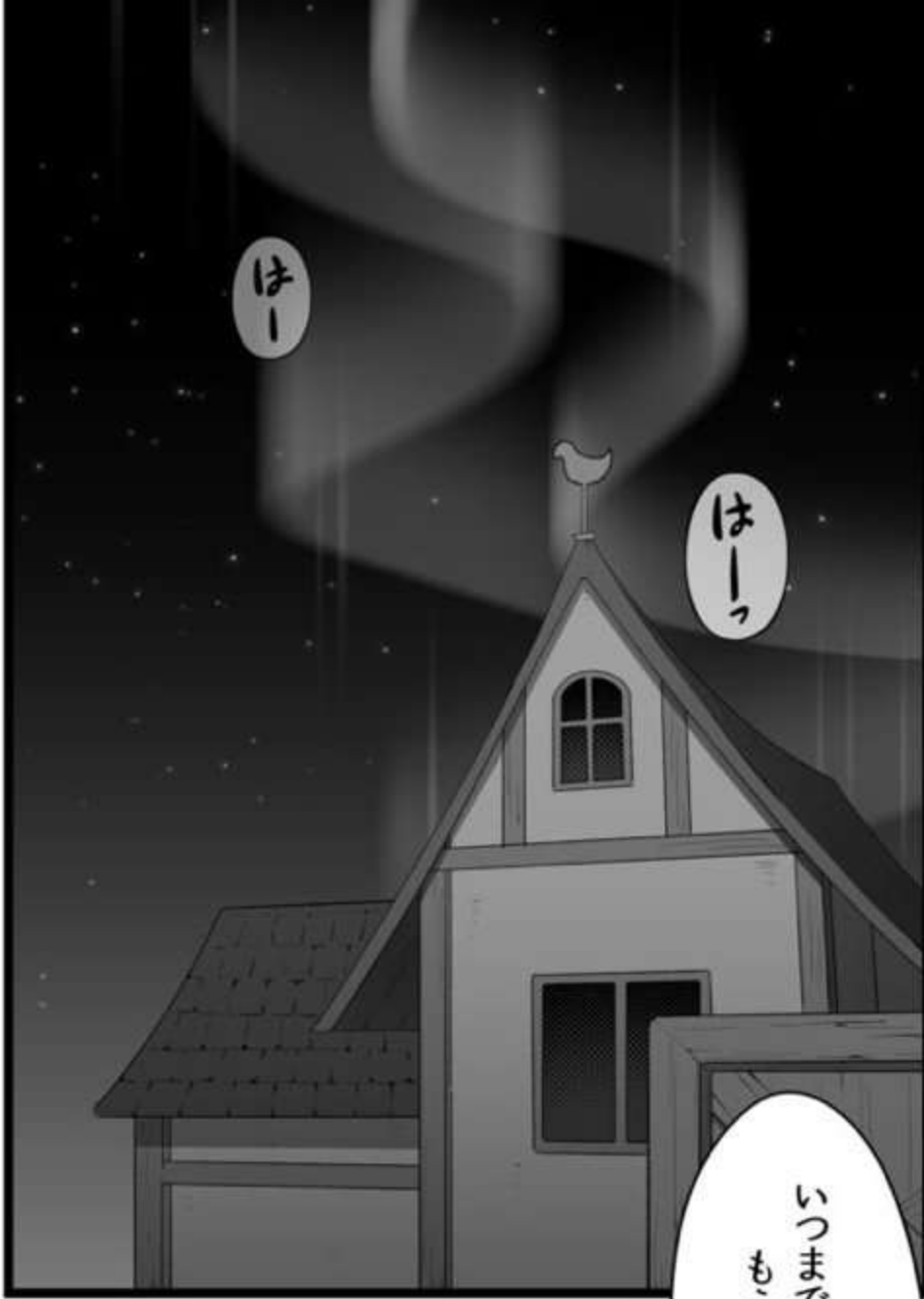


分かった。



代わりにそれからは本当の相手をしないよこれ以上はダメ。わかった?

わかった



はー

はーっ

いつまで続けるつもり
もついや…!



あや



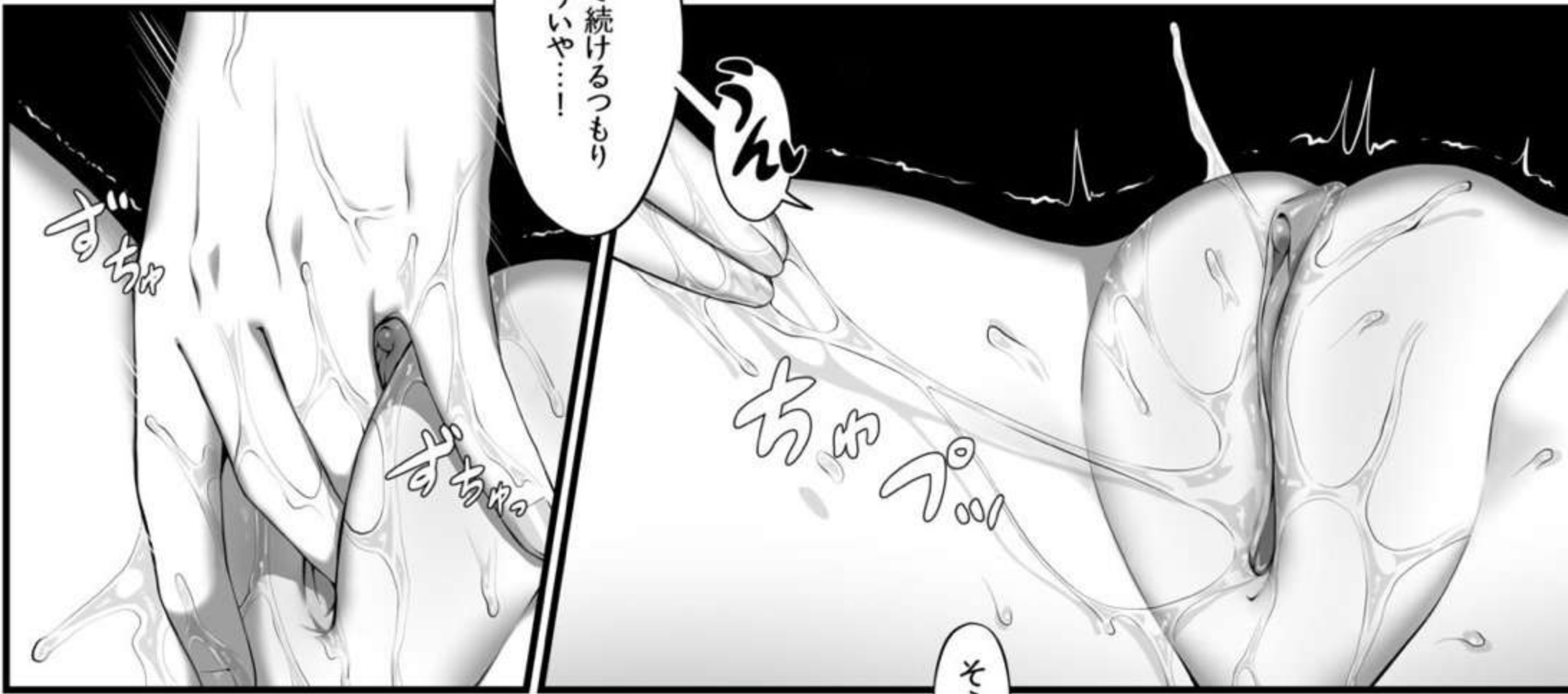
や…めて!

あやあ

あやあ

あやあ

あや



あや

あや

あや

そう?

そうしよう



びん

びん

びん



蛍

考えてみたけど
やめるのはちよっと
勿体無いんじゃない？

カッパ

パッパ

なぜそうすべきか
分からないな

ほら見て、
内側が俺の形に作られて
こんなに直ぐ入るのに。



カッパ

違っ？
っ……！

カッパ

バクッ



違う?なら教えるね



…何?



俺が君にどれほど
本気なのかを。

!!!

アッ

ッ



蛭、水がすごく出る。
俺は俺たちの体の相性が
とても良いと思う。
ずっと会いたましようね？

ダメ…！

ここが好だよね？
こっして刺すと
すごく締めるね。

待って…！

ま…！

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ

ハハ



だから俺が君を
あきらめるわけが
ないでしょ。

は…

だ、だめ…
いつか
君を離れる状況で
これ以上
情をあげたら
私は…もう…
だから…



その後は言葉なしで
関係だけした



私をあきらめたか？
これは本当に最後なのか？
私はなんてこんな
考えをしたんだろう？

休むことなく
出てくるうめきに
喉が痛い

もう…
疲れた…

何回やったのか
覚えても出ない



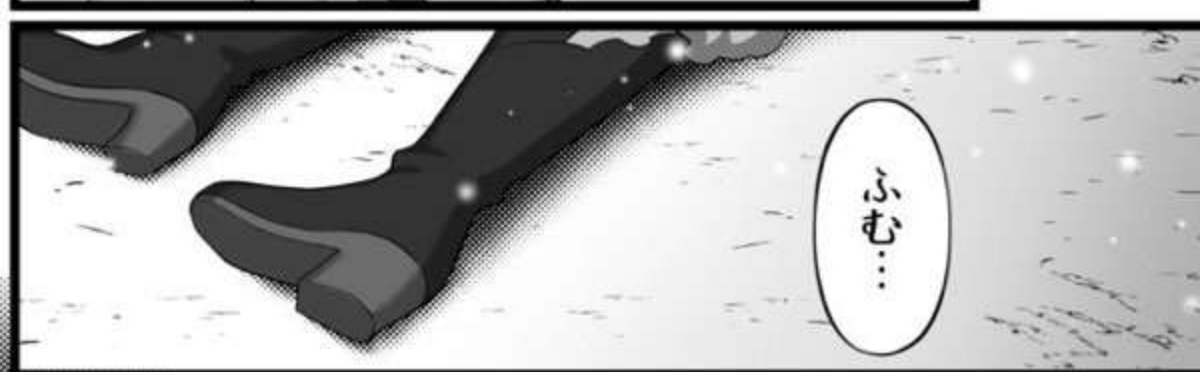




なぜ従ったの？



君の部下の
復讐をしに？



ふむ…



弱い奴は別に興味ないので…
もし俺と大連でも
してあげるのかい？
武器出すか？

それでも
ばか。

やな



これから残った時間の間は
一緒にいても大丈夫でしょ?

なに?



タルタリヤも私も一緒にいたいから

鼻が赤く
なったね



それまでは君と...